Ⅱ　卒業後の状況調査

１　中学校

[Ⅱ-1-1表] 　　主要指標の推移



（１）卒業者総数

ア　卒業者総数は81,618人で、前年より1,251人(対前年△1.5％)減少している。

イ　設置者別では、国立439人(構成比0.5％)、公立73,926人(同90.6％)、私立7,253人(同8.9％)で、前年より国立は1人増加、公立は923人減少、私立は329人減少している。

ウ　男女別では、男子42,028人(構成比51.5％)、女子39,590人(同48.5％)で、前年より男子は237人減少、女子は1,014人減少している。

エ　状況別内訳は、高等学校等進学者80,406人(構成比98.5％)、専修学校（高等課程）進学者342人(同0.4％)、専修学校(一般課程)等入学者119人(同0.1％)、公共職業能力開発施設等入学者5人(同0.0％)、就職者263人(同0.3％)、左記以外の者481人(同0.6％)、不詳・死亡の者2人(同0.0％)である。

 [Ⅱ-1-1表・統計表80]

（２）高等学校等進学者

ア　高等学校等進学者数は80,406人で、前年より1,091人(対前年△1.3％)減少している。

イ　設置者別では、国立439人(構成比0.5％)、公立72,755人(同90.5％)、私立7,212人(同9.0％)で、前年より国立は1人増加、公立は748人減少、私立は344人減少している。

ウ　男女別では、男子41,327人(構成比51.4％)、女子39,079人(同48.6％)で、前年より男子は192人減少、女子は899人減少している。

エ　高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程76,509人(構成比95.2％)、定時制課程706人(同0.9％)、通信制課程2,313人(同2.9％)、高等専門学校249人(同0.3％)、特別支援学校高等部629人(同0.8％)である。

オ　他府県に所在する高等学校への進学者は3,004人で、前年より87人(対前年3.0％）増加しており、高等学校等進学者数の3.7％を占めている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 [Ⅱ-1-1表・Ⅱ-1-2表・Ⅱ-1-1図・統計表80]

[Ⅱ-1-2表] 　　高等学校等進学者数の内訳



[Ⅱ-1-1図]　　進学先の内訳



（３）高等学校等進学率

ア　高等学校等進学率は98.5％で、前年より0.2ポイント上昇している。

また、通信制課程を除いた進学率は95.7％で、前年より0.2ポイント上昇している。

イ　男女別では、男子98.3％、女子98.7％で、前年より男子は0.1ポイント上昇、女子は0.3ポイント上昇している。

ウ　都道府県別では、新潟県99.6％、石川県・山形県99.5％、岩手県99.4％の順である。

　　なお、大阪府は98.5％で、全国36番目となっており、全国平均の98.8％を0.3ポイント下回っている。

 [Ⅱ-1-3表・付表-6]

[Ⅱ-1-3表] 　　高等学校等進学率・卒業者に占める就職者の割合



（４）専修学校(高等課程)進学者

専修学校(高等課程)進学者は342人で、前年より14人(対前年4.3％)増加している。

[Ⅱ-1-1表]

（５）専修学校(一般課程)等入学者

ア　専修学校(一般課程)等入学者は119人で、前年より43人(対前年△26.5％)減少している。

イ　入学者の内訳は、専修学校(一般課程)66人で、各種学校53人である。

 [Ⅱ-1-1表]

（６）公共職業能力開発施設等入学者

公共職業能力開発施設等入学者は5人で、前年より2人(対前年△28.6％)減少している。

[Ⅱ-1-1表]

（７）就職者総数

ア　就職者総数は277人で、前年より9人(対前年△3.1％)減少している。

　　なお、就職者総数の内訳は、就職者263人、高等学校等進学者のうち就職している者14人である。

イ　男女別では、男子213人(構成比76.9％)、女子64人(同23.1％)で、前年より男子は3人増加、女子は12人減少している。

ウ　就職者総数のうち、大阪府内就職者数は247人(構成比89.2％)、大阪府外就職者数は30人(同10.8％)である。

エ　就職者総数の産業別内訳は、第１次産業は4人(構成比1.4％)、第２次産業は106人(同38.3％)、第３次産業は124人(同44.8％)、左記以外のものは43人(同15.5％)である。

[Ⅱ-1-1表・統計表80・83]

（８）卒業者に占める就職者の割合

ア　卒業者に占める就職者の割合は0.3％で、過去最低である。

イ　男女別では、男子0.5％、女子0.2％で、ともに前年と同程度である。

ウ　都道府県別では、香川県0.8％、愛媛県・沖縄県0.7％の順である。

なお、大阪府は0.3％で、全国15番目となっており、全国平均の0.3％と同程度である。

 [Ⅱ-1-3表・付表-6]

[Ⅱ-1-2図] 高等学校等進学率の推移 　　　[Ⅱ-1-3図] 卒業者に占める就職者の割合の推移

****

２　義務教育学校

[Ⅱ-2-1表] 主要指標の推移



（１）卒業者総数

ア　卒業者総数は63人である。

イ　設置者別では、公立63人(構成比100％)である。

ウ　男女別では、男子26人(構成比41.3％)、女子37人(同58.7％)である。

エ　状況別内訳は、高等学校等進学者60人(構成比95.2％)、専修学校(一般課程)等入学者2人(同3.2％)、就職者1人(同1.6％)である。

 [Ⅱ-2-1表]

（２）高等学校等進学者数

ア　高等学校等進学者数は60人である。

イ　男女別では、男子25人(構成比41.7％)、女子35人(同58.3％)である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 [Ⅱ-2-1表]

３　高等学校（全日制・定時制）

[Ⅱ-3-1表] 主要指標の推移



（１）卒業者総数

ア　卒業者総数は75,858人で、前年より1,445人(対前年1.9％)増加している。

イ　設置者別では、国立445人(構成比0.6％)、公立44,378人(同58.5％)、私立31,035人(同40.9％)で、前年より国立は10人増加、公立は1,494人増加（府立は1,401人増加、市立は93人増加）、私立は59人減少している。

ウ　男女別では、男子37,344人(構成比49.2％)、女子38,514人(同50.8％)で、前年より男子は179人増加、女子は1,266人増加している。

エ　課程別では、全日制課程74,712人(構成比98.5％)、定時制課程1,146人(同1.5％)であ　る。

オ　状況別内訳は、大学等進学者45,292人(構成比59.7％)、専修学校(専門課程)進学者11,410人(同15.0％)、専修学校(一般課程)等入学者4,555人(同6.0％)、公共職業能力開発施設等入学者133人(同0.2％)、就職者8,932人(同11.8％)、一時的な仕事に就いた者923人(同1.2％)、左記以外の者4,581人(同6.0％)、不詳・死亡の者32人(同0.0％)である。

カ　都道府県別では、東京都102,326人、大阪府75,858人、神奈川県66,400 人の順である。

 [Ⅱ-3-1表・統計表84・付表-6]

（２）大学等進学者

ア　大学等進学者数は45,292人で、前年より279人(対前年0.6％)増加している。

イ　設置者別では、国立259人(構成比0.6％)、公立22,845人(同50.4％)、私立22,188人(同49.0％)で、前年より国立は18人減少、公立は801人増加、私立は504人減少している。

ウ　男女別では、男子21,496人(構成比47.5％)、女子23,796人(同52.5％)で、前年より男子は212人減少、女子は491人増加している。

エ　大学等進学者数の内訳は、大学の学部40,791人(構成比90.1％)、短期大学の本科4,367人(同9.6％)、大学・短期大学の通信教育部28人(同0.1％)、大学・短期大学の別科5人(同0.0％)、高等学校専攻科101人(同0.2％)である。

オ　卒業学科別では、普通科38,479人(構成比85.0％)、農業科74人(同0.2％)、工業科853人(同1.9％)、商業科304人(同0.7％)、家庭科17人(同0.0％)、看護科169人(同0.4％)、福祉科37人(同0.1％)、その他3,828人(同8.5％)、総合学科1,531人(同3.4％)である。

カ　都道府県別では、東京都67,455人、大阪府45,292人、神奈川県40,703人の順である。

　[Ⅱ-3-1表・Ⅱ-3-2表・統計表84・85・付表-6]

[Ⅱ-3-2表] 　　　　大学等進学者数の内訳



[Ⅱ-3-1図] 　状況別卒業者数の内訳



（３）大学等進学率

ア　大学等進学率は59.7％で、前年より0.8ポイント低下している。

イ　男女別では、男子57.6％で、前年より0.8ポイント低下、女子61.8％で、前年より0.8ポイント低下している。

ウ　卒業学科別では、普通科63.8％、農業科19.8％、工業科20.4％、商業科22.4％、家庭科42.5％、看護科94.9％、福祉科27.2％、その他70.3％、総合学科40.0％である。

エ　都道府県別では、京都府66.2％、東京都65.9％、神奈川県61.3％の順である。

　また、大阪府は59.7％で全国6番目となっており、全国平均54.7％を5ポイント上回っている。

 　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅱ-3-3表・Ⅱ-3-4表・統計表86・87]

 [Ⅱ-3-3表] 　　大学等進学率・卒業者に占める就職者の割合



[Ⅱ-3-4表] 全国及び都道府県別大学等進学率 　[Ⅱ-3-2図] 大学等進学率の推移





（４）大学(学部)・短期大学(本科)入学志願者数

ア　大学(学部)・短期大学(本科)へ入学を志願した者は51,417人で、前年より728人(対前年1.4％)増加し、本年3月卒業者に占める割合は67.8％である。

　　なお、全国では655,749人で、前年より10,118人(対前年1.6％)増加している。

イ　男女別では、男子25,749人(構成比50.1％)、女子25,668人(同49.9％)で、本年3月卒業者のうち、男子の69.0％、女子の66.6％が入学志願している。

ウ　過年度卒業者の入学志願者数は5,727人で、前年より877人(対前年△13.3％)減少している。そのうち、前年3月の卒業者は4,744人で、前年より827人(対前年△14.8％)減少している。

エ　過年度卒業者を含む入学志願者の総数は57,144人で、前年より149人(対前年△0.3％)減少している。

 [Ⅱ-3-1表・Ⅱ-3-5表]

[Ⅱ-3-5表] 大学（学部）・短期大学（本科）への入学を志願した者



（５）専修学校(専門課程)進学者

ア　専修学校（専門課程）進学者は11,410人で、前年より461人(対前年4.2％)増加している。

イ　都道府県別では、東京都12,040人、大阪府11,410人、神奈川県10,534人の順である。

 [Ⅱ-3-1表・付表-6]

（６）専修学校(一般課程)等入学者

ア　専修学校(一般課程)等入学者は4,555人で、前年より172人(対前年△3.6％)減少している。

イ　入学者の内訳は専修学校(一般課程)601人(構成比13.2％)で、各種学校3,954人(同86.8%)である。

ウ　都道府県別では、東京都5,987人、大阪府4,555人、愛知県4,033人の順である。

 [Ⅱ-3-1表・付表-6]

（７）公共職業能力開発施設等入学者

公共職業能力開発施設等入学者は133人で、前年より23人(対前年△14.7％)減少している。

[Ⅱ-3-1表]

（８）就職者総数

ア　就職者総数は8,932人で、前年より318人(対前年3.7％)増加している。

　　就職者総数の内訳は、就職者8,932人で、大学等進学者・専修学校(専門課程)進学者・専修学校(一般課程)等入学者・公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者0人である。

　　また、就職者総数のうち正規の職員等は8,801人(構成比98.5％)、正規の職員等でない者は131人（同1.5％）である。

イ　設置者別では、国立1人（構成比0.0％）、公立7,546人(同84.5％)、私立1,385人(同15.5％)で、前年より国立は1人増加、公立は247人増加、私立は70人増加している。

ウ　男女別では、男子5,441人(構成比60.9％)、女子3,491人(同39.1％)で、前年より男子は62人増加、女子は256人増加している。

エ　産業別では、「製造業」3,051人(構成比34.2％)、「卸売業、小売業」1,415人(同15.8％)、「運輸業、郵便業」754人(同8.4％)の順に多い。

　　また、男子では、「製造業」が2,198人と最も多く、男子就職者総数の40.4％を占めており、女子では、「卸売業、小売業」が884人と最も多く、女子就職者総数の25.3％を占めている。

カ　職業別では、「生産工程従事者」3,054人(構成比34.2％)、「サービス職業従事者」1,347人(同15.1％)、「販売従事者」1,191人(同13.3％)の順に多い。

　　また、男子では、「生産工程従事者」が2,496人と最も多く、男子就職者総数の45.9％を占めており、女子では、「サービス職業従事者」が904人と最も多く、女子就職者総数の25.9％を占めている。

　　　　　　　　　　　[Ⅱ-3-1表・Ⅱ-3-3図・Ⅱ-3-4図・統計表84・88・90]

[Ⅱ-3-3図] 　　男女別・産業別就職者の割合



[Ⅱ-3-4図] 　　男女別・職業別就職者の割合



（９）卒業者に占める就職者の割合

ア　卒業者に占める就職者の割合は11.8％で前年より0.2ポイント上昇している。

イ　男女別では、男子14.6％、女子9.1％で、男子は前年より0.1ポイント上昇、女子は

前年より0.4ポイント上昇している。

ウ　都道府県別では、佐賀県32.8％、青森県32.0％、秋田県・山口県30.4％の順である。

　　また、大阪府は11.8％で全国43番目となっており、全国平均17.8％を6.0ポイント下回っている。

エ　大阪府外への就職者数は651人で、就職者総数の7.3％を占めている。

　　内訳は、近畿地方295人(構成比45.3％)、関東地方182人(同28.0％)、中部地方60人(同

9.2％)の順に多い。

[Ⅱ-3-3表・Ⅱ-3-6表・Ⅱ-3-7表・Ⅱ-3-5図]

　　[Ⅱ-3-5図]卒業者に占める就職者の割合の推移　　　　[Ⅱ-3-6表]　全国及び都道府県別

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　卒業者に占める就職者の割合



[Ⅱ-3-7表]　大阪府外への就職者数　　　　　　　[Ⅱ-3-6図]　男女別大学等進学率及び

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　卒業者に占める就職者の割合



４　高等学校（通信制）

[Ⅱ-4-1表] 　　主要指標の推移



（１）卒業者総数

ア　卒業者総数は5,233人で、前年度間より476人(対前年度間10.0％)増加している。

イ　設置者別では、公立371人(構成比7.1％)、私立4,862人(同92.9％)で、前年度間より公立は47人増加、私立は429人増加している。

ウ　男女別では、男子2,794人(構成比53.4％)、女子2,439人(同46.6％)で、前年度間より男子は213人増加、女子は263人増加している。

エ　状況別内訳は、大学等進学者853人(構成比16.3％)、専修学校(専門課程)進学者1,090人(同20.8％)、専修学校(一般課程)等入学者68人(同1.3％)、公共職業能力開発施設等入学者59人(同1.1％)、就職者1,171人(同22.4％)、左記以外の者1,991人(同38.0％)である。

 [Ⅱ-4-1表・統計表91]

（２）大学等進学者

ア　大学等進学者数は853人で、前年度間より57人(対前年度間7.2％)増加している。

イ　設置者別では、公立28人(構成比3.3％)、私立825人(同96.7％)で、前年度間より公立は1人減少、私立は58人増加している。

ウ　男女別では、男子473人(構成比55.5％)、女子380人(同44.5％)で、前年度間より男子は19人増加、女子は38人増加している。

エ　大学等進学者数の内訳は、大学(学部)705人(構成比82.6％)、短期大学(本科)132人(同15.5％)、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学16人(同1.9％)である。

 [Ⅱ-4-1表・統計表91]

（３）大学等進学率

ア　大学等進学率は16.3％で、前年度間より0.4ポイント低下している。

イ　男女別では、男子16.9％、女子15.6％で、前年度間より男子は0.7ポイント低下、女子は0.1ポイント低下している。

 [Ⅱ-4-2表]

（４）専修学校(専門課程)進学者

ア　専修学校(専門課程)進学者数は1,090人で、前年度間より38人(対前年度間3.6％)増加している。

イ　男女別では、男子604人(構成比55.4％)、女子486人(同44.6％)で、前年度間より男子は14人増加、女子は24人増加している。

 [Ⅱ-4-1表・統計表91]

（５）専修学校(一般課程)等入学者

ア　専修学校(一般課程)等入学者数は68人で、前年度間より43人(対前年度間△38.7％)減少している。

イ　入学者の内訳は専修学校(一般課程)3人で、各種学校65人である。

 [Ⅱ-4-1表]

（６）公共職業能力開発施設等入学者

公共職業能力開発施設等入学者数は59人で、前年度間より11人(対前年度間△15.7％)減少している。 [Ⅱ-4-1表]

（７）就職者総数

ア　就職者総数は1,171人で、前年度間より69人(対前年度間6.3％)増加している。

イ　男女別では、男子696人(構成比59.4％)、女子475人(同40.6％)で、前年度間より男子は56人増加、女子は13人増加している。

 [Ⅱ-4-1表・統計表91]

（８）卒業者に占める就職者の割合

ア　卒業者に占める就職者の割合は22.4％で、前年度間より0.8ポイント低下している。

イ　男女別では、男子24.9％、女子19.5％で、前年度間より男子は0.1ポイント上昇、女子は1.8ポイント低下している。

 [Ⅱ-4-2表・統計表91]

[Ⅱ-4-2表] 　大学等進学率・卒業者に占める就職者の割合



５　中等教育学校

 [Ⅱ-5-1表] 主要指標の推移（前期課程）



（１）前期課程修了者総数

ア　前期課程修了者数は116人で、前年より19人(対前年△14.1％)減少している。

イ　男女別では、男子76人(構成比65.5％)、女子40人(同34.5％)である。

 [Ⅱ-5-1表]

（２）高等学校等進学者

ア　高等学校等進学者数は116人で、前年より18人(対前年△13.4％）減少している。

イ　高等学校等進学者のうち108人(構成比93.1％）が中等教育学校後期課程へ進学している。

[Ⅱ-5-1表]

 [Ⅱ-5-2表] 主要指標の推移（後期課程）



（３）後期課程卒業者総数

ア　後期課程卒業者数は109人で、前年より20人(対前年△15.5％)減少している。

イ　男女別では、男子75人(構成比68.8％)、女子34人(同31.2％)である。

[Ⅱ-5-2表]

（４）大学等進学者

大学等進学者数は92人で、前年より11人(対前年△10.7％)減少している。

[Ⅱ-5-2表]

６　特別支援学校

[Ⅱ-6-1表] 　　主要指標の推移



（１）中学部卒業者

ア　卒業者総数は881人で、前年より45人(対前年5.4％)増加している。

イ　進学者(高等学校等)は866人で、前年より40人(対前年4.8％)増加している。

進学者の内訳は、高等学校(本科)15人、特別支援学校高等部(本科・別科)851人である。

ウ　進学率は98.3％で、前年より0.5ポイント低下している。

[Ⅱ-6-1表・統計表92]

（２）高等部卒業者

ア　卒業者総数は1,340人で、前年より41人(対前年△3.0％)減少している。

イ　進学者(大学等)は21人で、前年より7人（対前年△25.0％)減少している。

　　進学者の内訳は、大学（学部）9人、特別支援学校高等部(専攻科)12人である。

ウ　進学率は1.6％で、前年より0.5ポイント低下している。

エ　専修学校等入学者は1人、公共職業能力開発施設等への入学者は40人である。

オ　就職者総数は311人で、前年より13人(対前年4.4％)増加している。また、卒業者に占める就職者の割合は23.2％で、前年より1.6ポイント上昇している。

カ　左記以外の者は958人で、そのうち865人が社会福祉施設等への入(通)所者である。

　[Ⅱ-6-1表・統計表92]